



地球温暖化防止パリ会議（COP21）直前イベント

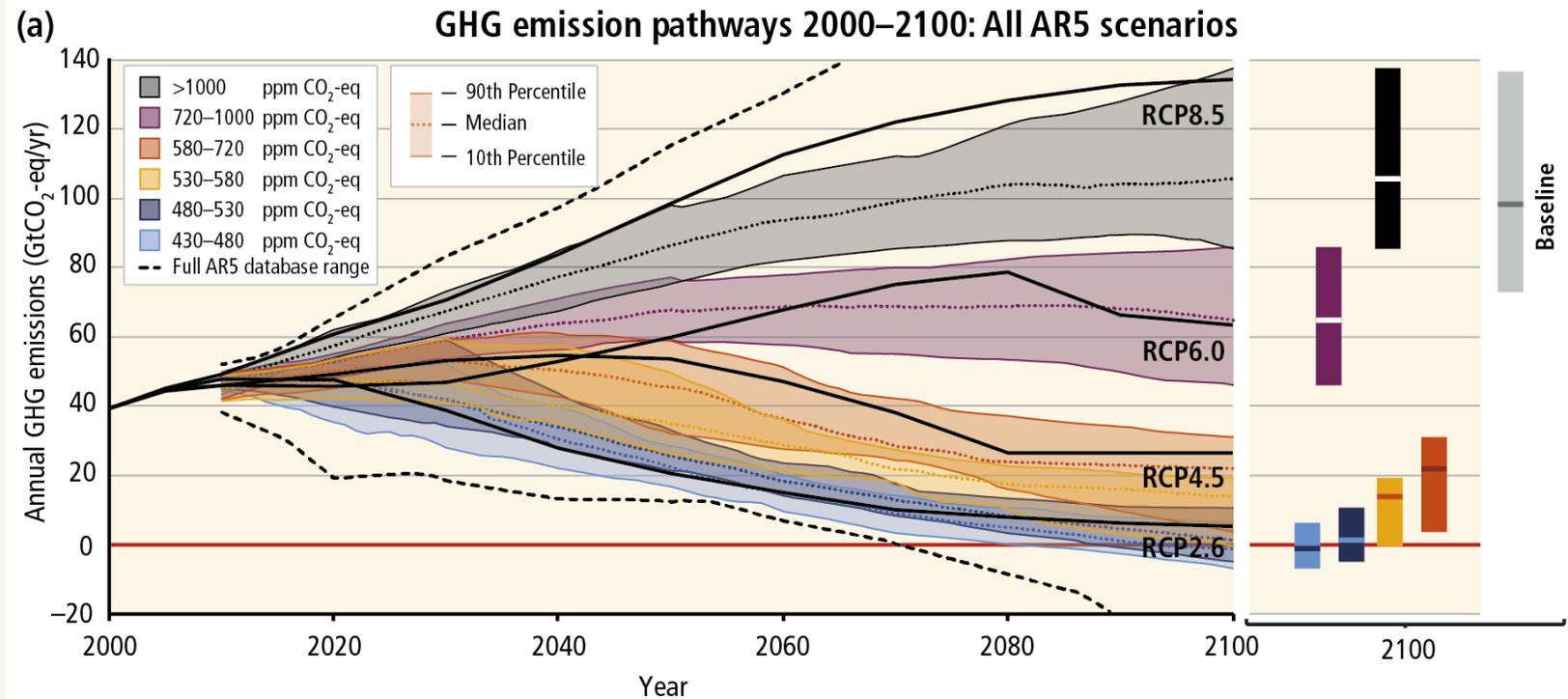
COP21パリ会議の重要論点

WWFジャパン
気候変動・エネルギーグループ リーダー
山岸 尚之

2015年11月24日（火）
衆議院議員第一会館 大会議室



どれくらい減らす必要があるのか？

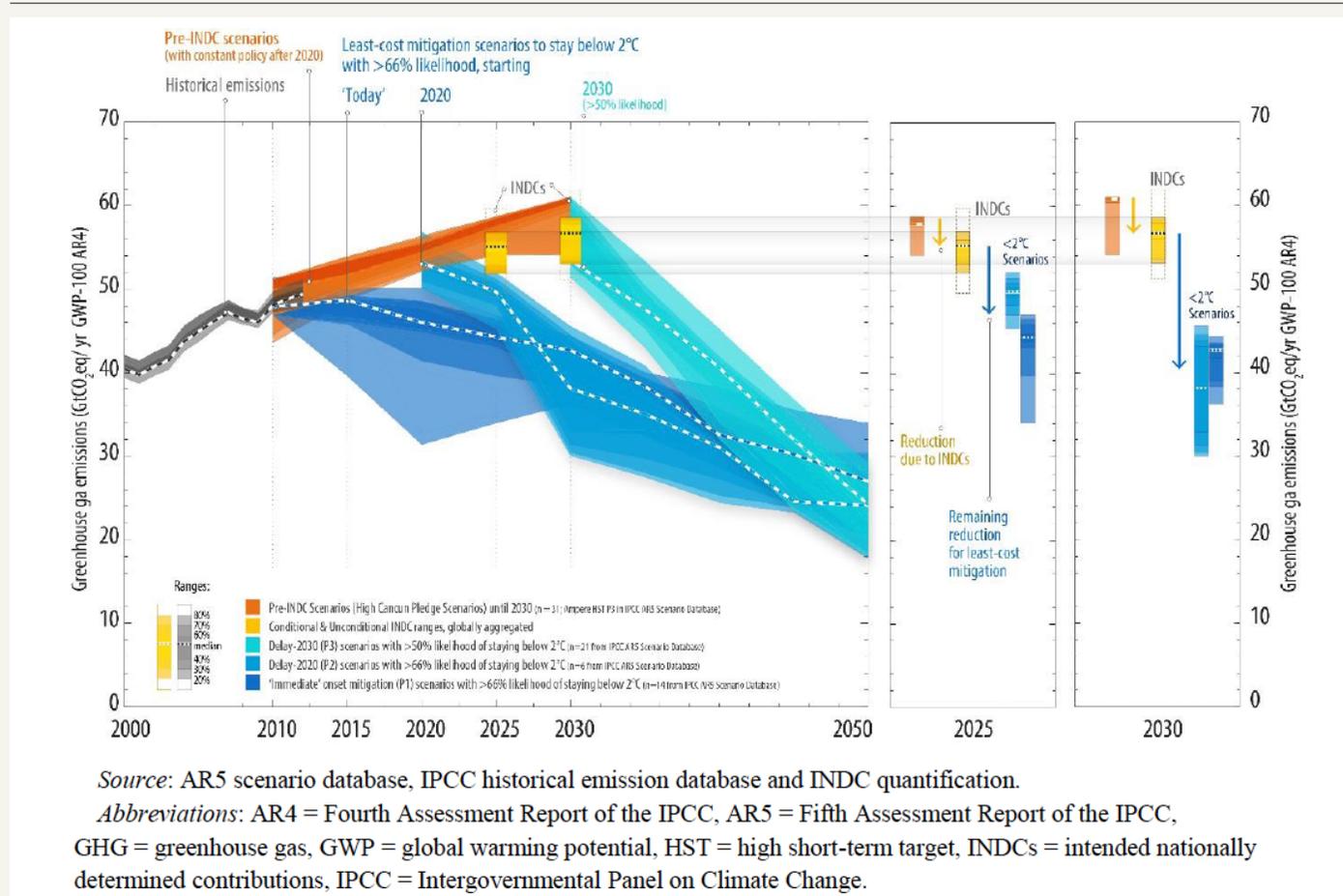


- **「2°C未満」**に抑えるシナリオでは、世界全体で、2050年までに、温室効果ガス排出量を**約40～70%削減**する必要がある。
- **「1.5°C未満」**に抑えるシナリオでは、同期間に、**約70～95%削減**する必要がある。

(出所) IPCC (2014) *Climate Change 2014: Synthesis Report: Summary for Policy Makers*. IPCC.
<http://www.ipcc.ch/report/ar5/syr/>



国連条約事務局によるINDCのまとめ

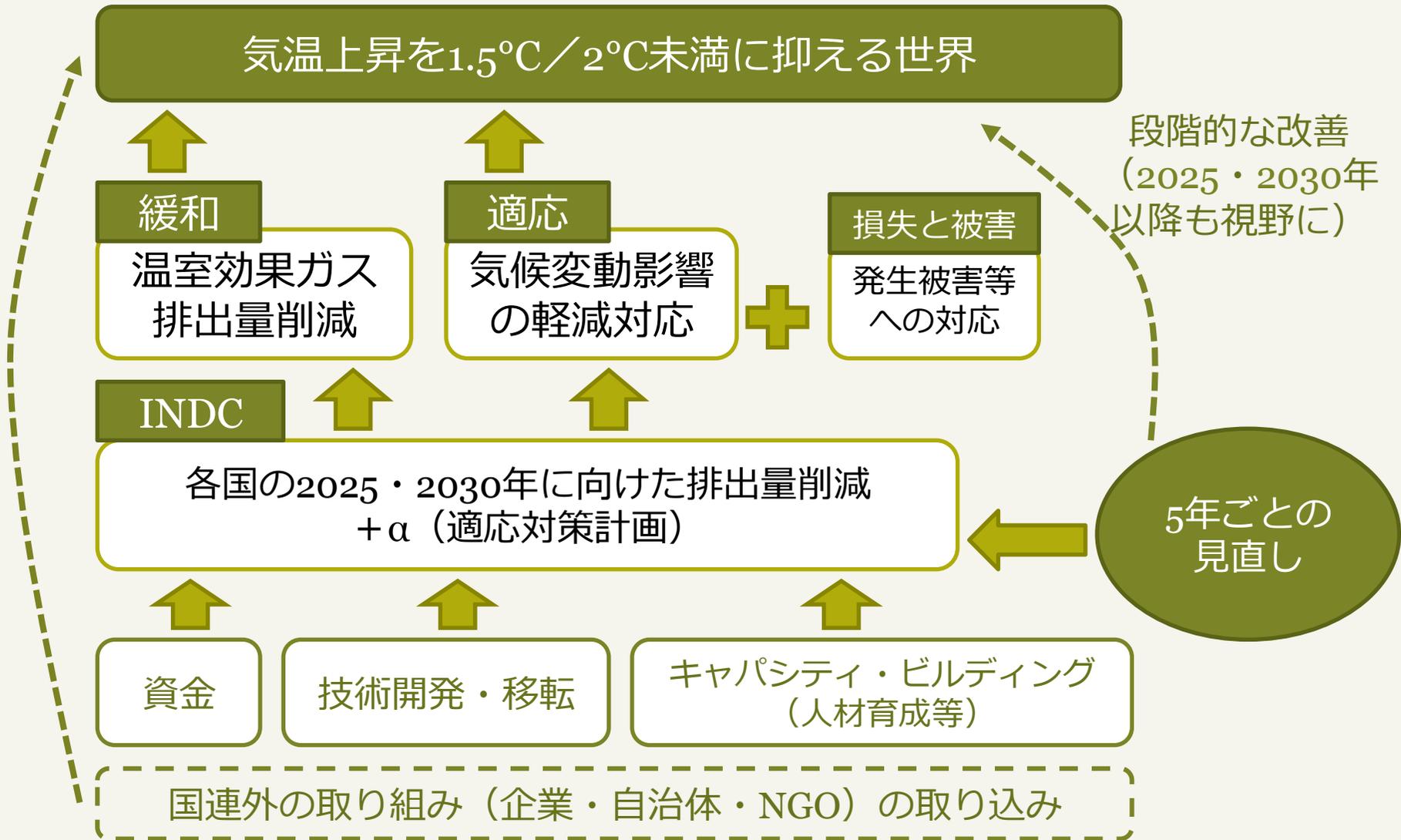


「2°C未満」に必要な排出削減量に対するギャップは、

- 2025年時点では年間87億トン（47～130億トン）
- 2030年時点では年間151億トン（111～217億トン）



パリ合意全体として目指そうとしているもの



※各国の議論を踏まえたおおよそのイメージ図。これで合意があるわけではない。



代表的な論点

■ 長期目標

- 2050年までの排出量削減「数値」目標を明確に位置づけられるか？

■ 削減目標の形式（e.g. 法的義務の重さ）

- 各国の責任と能力の応じた差異化をしつつ、削減目標の達成をどこまで求められるか？

■ 「損失と被害（loss and damage）」

- 「緩和」「適応」に加わる第3の領域として位置づけられるか？

■ 資金支援のあり方

- 将来も、資金支援の見通しを打ち立てられるか？

■ 差異化（differentiation）

- 自己差異化と二分論の間に、建設的な折衷案を作れるか？

■ 5年ごとの見直しサイクルのあり方

- 着実に、各国の「野心」を引き上げていく仕組みを打ち立てられるか？
- 世界全体だけでなく、個別国の目標の見直しも促していけるか？

※網羅的ではありません。



全てにつながる「差異化」をめぐる論点

削減目標の形式

(e.g. 総量か原単位か、BAU比か、
基準年比か)

削減目標の性質・義務

(e.g. 国によって義務かどうか違
う？LDCは？)

削減目標に支援有無条件をつけるか？

(e.g. ここまでは自力で、ここからは支援
があれば；必ず自力部分を含む？)

サイクル

(e.g. 先進国・途上国で分
ける？それとも？)

資金支援の義務・規模

(e.g. 誰がどれくらいの
資金支援をするのか)

差異化

長期目標

(e.g. ピークの時期が違
う？)

適応の扱い

(e.g. 途上国は適応行動
計画だけでもよい？)

遵守における扱い

(e.g. 遵守制度の対象と
なるのは？)



「先進国 (developed countries ; Annex I Parties) 」と
「途上国 (developing countries ; Non-Annex I Parties) 」
という言葉は使い続けるのか？